

琉球大学教育学部

## 教育振興会だより

2021 3月  
(令和3年)  
第32号〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
Email : kyoikusinkokai@yahoo.co.jp  
TEL : 098-895-8312

発行：琉球大学教育学部教育振興会 会長 上原 昌憲 編集：教育振興会

教育学部長  
萩野 敦子今年度の教員採用試験の  
結果から思うこと…

教育振興会に加入してくださっている保護者の皆様には、平素より教育学部・教育学研究科の学生・院生が志どおりに各種学校教員となるまでの道のりを支えていただ

いています。我々大学教員は、教員採用試験（沖縄県での正式名称は「教員候補者選考試験」）において一人でも多くの合格者を出すことで、皆様のご厚意に応えなければなりません。

各都道府県で実施された令和2年度の教員採用試験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小を余儀なくされました。沖縄県の場合、一次試験（筆記試験）は、密を避けて2グループに分けたため問題数が半減、二次試験は、例年の3日間から1日に短縮されて小論文がなくなり、模擬授業も簡素化されました。受ける側は負担が軽くなる喜びよりも、積み重ねてきた準備が活かせるのかという戸惑いや不安の方が大きかったようです。

結果として本学部4年次生（135名）は、県内外合わせて44名が現役合格を果たしました。この数字は本学部にとってほぼ平年並みで、異例の実施では過卒生（多くが学校現場で臨時任用を経験）が有利かもしれないと予想していましたので、健闘したと言えます。しかしながら、県内紙でも報道されていたように某私立大学が現役合格者数を伸ばしており、対抗意識を持つわけではありませんが、兜の緒を締める必要を感じています。

実は、本学部のような国立の教員養成学部が

国や文部科学省から厳しくチェックされるのは現役合格者数以上に、教員就職（各種学校への正規採用のみならず臨時任用・非常勤講師採用等も含む）率です。近年の本学部は60%をやや切るところで推移しており、一般に60%がノルマだろうといわれますので、こちらもまた要努力といったところです。

教育学部に進学したのに教員にならないのはなぜか……それを探るために一昨年度から、教員以外の就職を決めた4年次学生を対象にアンケートを実施しています。少なからず見受けられるのが「教員の多忙さや授業のみならず生徒指導・保護者対応までこなす厳しさを考えると、教育実習等で実感した自己の力量では無理だと思った」という内容のコメントです。教員の卵としての自己を肯定できる学生を育てていないことや、教育実習の意義（完璧を目指すのではなく、課題を知ることが重要）を伝えきれていないことなど、大学教員の一人として反省しつつ、やはり各学校現場の働き方改革が進んでほしいと願わずにはられません。

実は、このアンケートには反感を感じる学生もおり、「教員以外の道を否定するのか」と訴えるコメントも目にします。もちろん、そうではありません。「人が育つ・人を育てることの意味」「人と人とが共生することの意味」を知る教育学部出身者は、学校以外でも活躍できると思うからです。それでもやはり、卒業生の7割は学校現場で子どもの学びと育ちに携わり、残る3割は外から学校現場を支えてくれたらいい……と卒業式の話が出る時期になると、つい思ってしまうのです。



2020年度 教育振興会役員名簿		
役職	氏名	学生所属
会長	上原 昌憲	学校教育専攻
副会長	屋良 京子	高度教職実践専攻
//	赤嶺 彬	教科教育専攻
理事	金城 明子	教科教育専攻
//	金城 文子	学校教育専攻
//	末吉 優子	学校教育専攻
//	作山 泰代	教科教育専攻
//	勝連 美那子	学校教育専攻
//	吉田 智秋	教科教育専攻
//	新垣 美由紀	教科教育専攻
//	坂井 浩二	教科教育専攻
//	教科教育専攻	教科教育専攻
会計監査員	玉城 千ヨ	教科教育専攻
//	大庭 奈津美	学校教育専攻
顧問	萩野 敦子	教育学部長
幹事	許田 正勝	教育学部 事務長
書記	赤嶺 敦美	教育学部教育振興会書記

## 2019年度 総会



## 総会後の懇談会



## 教育学部棟



## 令和2年度 事業計画

1. 就職対策関係
  - (1) 就職状況調査
  - (2) 教員候補者選考試験対策資料の整備
  - (3) 教員候補者選考試験対策セミナーの開催  
(前期6月～8月・後期2月)
  - (4) 認定試験の実施(4月)
  - (5) 日本人学校等学校採用教員希望者説明会
  - (6) 教養模擬試験の実施(6月)
  - (7) 教員候補者選考試験対策強化費・他
2. 福利厚生関係
  - (1) 教育振興会だより第32号発行
  - (2) 学生教育研究災害傷害保険援助
  - (3) 振興会ニュースレターの発行
3. 学部援助
  - ・学部に関わる諸会議及び学部行事並びに運営等に対する援助

# 令和2年度 実施 公立学校教員候補者選考受験・合格状況(教育学部)

専修・ コース	受験者数							1次合格者数						2次・3次合格者数							
	学部生		院生		合計			学部生		院生		合計		学部生		院生		合計			
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計	県内	県外	県内	県外	県内	県外	計
教育実践	17	3			17	3	20	14	3			14	3	17	12	3			12	3	15
子ども開発	8				8		8	6				6		6	5				5		5
国語	5	4			5	4	9	4	2			4	2	6	2	2			2	2	4
社会	3	3 (1)			3	3	6	2	3 (1)			2	3	5	2	3 (1)			2	3	5
数学	2		1		3		3														
理科	6	2	1	1	7	3	10	2	2		1	2	3	5	1	1		1	1	2	3
音楽	7				7		7	5				5		5	3				3		3
美術	2				2		2	2				2		2							
保健体育	7	1			7	1	8	5	1			5	1	6	1	1			1	1	2
技術	2	2	1		3	2	5	2	2	1		3	2	5	1	2			1	2	3
生活科学	3	1			3	1	4	3	1			3	1	4	1	1			1	1	2
英語	1				1		1	1				1		1	1				1		1
特別支援	4	2 (1)			4	2	6	1	2 (1)			1	2	3	1	1 (1)			1	1	2
<b>教員養成課程合計</b>	<b>67</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>70</b>	<b>19</b>	<b>89</b>	<b>47</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>48</b>	<b>17</b>	<b>65</b>	<b>30</b>	<b>14</b>		<b>1</b>	<b>30</b>	<b>15</b>	<b>45</b>
子ども地域																					
自然環境																					
心理臨床																					
<b>生涯教育課程合計</b>																					
教職大学院			7	1	7	1	8			4		4		4			2		2		2
<b>合計</b>	<b>67</b>	<b>18</b>	<b>10</b>	<b>2</b>	<b>77</b>	<b>20</b>	<b>97</b>	<b>47</b>	<b>16</b>	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>52</b>	<b>17</b>	<b>69</b>	<b>30</b>	<b>14</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>32</b>	<b>15</b>	<b>47</b>

( )内数字は推薦

**【小学校】**

学部生→県内27名 県外8名 院生→県内2名

**【中学校】**

学部生→県内2名 県外4名 院生→県内1名

**【高校】**

学部生→県外1名

**【特支】**

学部生→ 県内2名 県外1名

**【合計】**

学部生→44名 院生3名

# 教員を目指す皆さんへ



オリエンテーション

## 教員採用試験報告書

音楽教育専修 荒木 里菜

♪沖縄県・小学校

♪感想・後輩へのアドバイス

今年新型コロナウイルスの影響で模試やセミナーの中止、試験内容の変更など、不測の事態が沢山起こりました。

個人的にも、音楽科発表会の準備等でスタートダッシュが遅くなってしまったり、4年次になって論文研究・演奏研究・公立実習



そして教採の4つの大きな課題が同時期に重なったり…と正直かなり大変でした。

それでも諦めずに勉強を続けられたのは、勉強会のメンバーや先輩方・先生方、そして家族の支えがあったからだ強く思います。

元々、私はグループで勉強することに抵抗を感じていました。しかし、参加してみるととにかくメンバーみんなが優しく、私の苦手な教科を教えてくれたり、情報を共有してくれたりしたのですごく楽しく勉強をすることができました。

2次試験対策でも、私の面接・模擬授業の様子を客観的な視点からみて、たくさんのアドバイスをくれたので、みんなで夢に向かって頑張ることの楽しさを心から味わうことができました。

勉強方法は人それぞれとは思いますが、受験される皆さんにとって私の勉強方法やスケジュールが少しでも参考になれば嬉しいです❀皆さんの「教員になりたい!」という夢が実現することを祈っています♪頑張ってください!

### 【模擬授業】

模擬授業前の質問

「緊張していますか?」

「あなたは新型コロナウイルス感染症対策のために何か心掛けていることはありますか」



### 課題

平成29年3月告示 小学校学習指導要領「算数」 「第3学年」 「A 数と計算」

「(4)除法 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること(イ)数量の關係に着目し、計算を日常生活に生かすこと。」の内容のうち、「余りの処理については、商をそのまま答えとできない場合があり、日常生活に即してより適切な答えを考える必要がある。」の授業展開における「導入」段階の模擬授業を行って下さい。

※教室には30人の児童がいるものと想定して授業を行う。

※日付・問題文は掲示してあるため、問題提示後からの授業を展開すること。



掲示されていた問題文↓(書き込みはNG)

子どもが30人います。1きゃくの長いすに4人ずつわります。全員がすわるには、長いすは何きゃくいりますか。

※面接官は児童役ではないため、指名等を行わない。

→子どもがいると想定して、「(架空の名前)さん、どうぞ」のように言うのはOK

※必要に応じて掲示用教具等を持参し、掲示してもかまわない。(ICT機器はNG)

→特に小学生は視覚的な配慮が必要だと思うので、掲示物を使うことをおすすめします!



# 合格者

# からの メッセージ

## 教員採用試験の感想と後輩へのアドバイス



※児童に活動をさせる場面では、実際にはその活動を行わず、次のように説明する。

(例:「ここで机間指導を行います。」「ここでノートを書かせます。」)

当日は、授業構想ノートと掲示用教具の持ち込みOK

### 模擬授業後の質問

- ・ 模擬授業をやってみての感想
- ・ あまりの処理の考えが難しい子に対してはどのように対応しますか
- ・ まとめはどのように予定していますか
- ・ 振り返りはどのような言葉を期待していますか



### 【面接】

- ・ あなたの志望動機と理想の教師像を教えてください
- ・ ボランティア活動で学んだことはなんですか
- ・ あなたの意見が職員会議等で通らなかった場合、あなたはどのような対応をしますか
- ・ あなたがもし、教育現場で何か困ったことがあったらどのように対応しますか
- ・ (周りの先生に相談すると答えたら)では、周りの先生が相談に乗ってくれない、あるいは相談に乗れない状況だったらどうしますか
- ・ (違う学校に勤める同僚に相談すると答えたら)その先生も忙しい場合はどうしますか
- ・ あなたのストレス解消法を教えてください
- ・ あなたが学級経営の中で意識したいことはなんですか
- ・ (場面指導)グループ活動の際に、活動の中に入れてなくて困っている子が1人います。その子の対応を2分以内で行ってください
- ・ あなたが今の場面指導で特に意識したことはなんですか

## 教員採用試験報告書

技術教育専修 池谷祐人



1. 静岡県と沖縄県  
中学校技術

2. 勉強の時期は4年生になってから本格的に始めた。特に1か月前などは研究室にこもるなどメリハリを大事にしながら勉強をしていった。勉強方法は基本的に問題を解いて解説をしていくの繰り返し。過去問や分野別などを多く行った。法規などの暗記の科目は穴埋めにして何周もして、暗唱ができるくらいまで行った。テキストはその県の過去問と東京アカデミーが出している各分野の本を使用した。

面接対策は主に研究室の教授に協力してもらった。1週間ずつと行い、一気に詰めた記憶がある。教授が優しくなったから、ここまで出来たかもしれない。

3. 静岡県が一般教養と教職教養、専門科目、適性検査、実技試験、個人面接。

実技試験に関しては木材加工と電気配線のはんだづけ。

沖縄県は一般教養と教職教養、専門科目。

4. 静岡県が集団面接。

沖縄県が模擬授業と個人面接。



5. 教員採用試験の勉強は正直に言う

と終わりがなくて、辛いものがある。しかし、他の学部でいえば就職活動と同じだ。教師になりたいという思いがあれば、勉強を続けることができるはずだ。私は1人で行う方が集中できたから一人で勉強をしたが、仲間とやることも一つの策である。私は講義で会う同じ専修の人とクイズを出し合っただけで知識を楽しく増やしていた。自分なりの勉強方法や暗記方法を試してもらいたい。その時に気を付けてほしいのが、県の問題の傾向を知ることである。私はすべての範囲をやればよいというものではないと思う。メリハリをつけて大事なところを重点的に行うようにしてほしい。

話は少し変わるが、私が大学三年生の頃、先輩がずっと勉強していたときに、なんでそんなに頑張れるんですかと聞いたことがある。その時に、その先輩はこれで人生が決まるからやらないわけがないと言っていた。その時はあまりにも思わなかったが、今となれば、あの言葉を聞いていたからこそここまで頑張れたと思う。教員採用試験は人生を決める大事な試験だということを忘れないでほしい。教師となるか非常勤で働くか、もしくは他の職業に就くのかは自分次第である。未来の自分としっかりと向き合い自分で人生を選択してほしい。





Vol. 11



親に贈る米盛智恵子の  
心がほぐれる癒し文字

親の皆さん こんにちは。  
 コロナ禍にも負けず笑ってますか。  
 笑わせてますか。  
 お子さんは、やる気や元気など失ってはいませんか。

お父さんお母さん、お子さんに“パワー発笑”を送ってあげませんか。  
 きつと、心の曇りが晴れ、より前に進めるのかも知れません。

さあ!! 笑わせましょう!!  
 とは言え、どうやって?! ですよ。  
 愛のチカラを借りるのです。  
 例えば、こんな愛です。

ほめ愛、認め愛、許し愛、励まし愛、支え愛、いたわり愛、語り愛 等々です。  
 きつと、この愛たち、お子さんの心に笑いの風を連れて来るに違いありません。

愛は“パワー発笑フル”なんです。  
 聖書に、こんな言葉がありました。

“愛を身につけましょう。  
 愛は完全な絆なのです。”  
 親のみなさん、

三六五日、愛を身につけてパワー

“発笑”發揮しましょう。  
 気づけば、あなたの大事な  
 お子さんは、親子の愛の絆を強く  
 新しい世界に向かって

年中夢中になっているのかも知れません。  
 “芽”出たし!!  
 “芽”出たし!!

